

阿蘇市温泉センターにおける 温泉熱活用事業について



熊本県阿蘇市
経済部まちづくり課
下田 耕一郎



1 阿蘇市について

人口 24,930 人（令和 2 年国勢調査）

面積 376.2 km²

特徴 阿蘇くじゅう国立公園内に位置する
火山と草原に囲まれた小規模自治体



2 阿蘇市温泉センターについて

利用者 年間11万人程度

近年は外国人の利用者も増えている

収 支 経常的な赤字経営

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収支	▲14,096,941円	▲16,127,464円	▲14,159,511円	▲9,664,796円	▲2,330,370円



2 阿蘇市温泉センターについて

源泉 53°C程度、毎分260 ℓ を24時間汲み上げ、
井水を加水して、**温度を下げて利用**

温水 井水を灯油ボイラーで**加温して利用**

源泉を冷やし、井水を温めているのは無駄では？



3 コンシェルジュ事業について

- ・ 温泉熱の活用事業について日頃からお付き合いのある環境省九州地方環境事務所へ相談
- ・ 地熱発電等調整専門官からコンシェルジュ事業を紹介いただき、応募したところ採択いただいた



3 コンシェルジュ事業について

- ・ 令和6年8月1日 第1回支援
- ・ 温泉熱利用の基礎、温泉熱利用事例の紹介、
温泉熱利用検討の流れ、国の支援策等について
専門家の講話
- ・ 専門家による簡易的な現地調査



3 コンシェルジュ事業について

- ・令和6年10月17日 第2回支援
- ・阿蘇市温泉センターの源泉、設備、利用状況等に基づき、実現可能と考えられる温泉熱活用の方法について専門家から提案



3 コンシェルジュ事業について

- ・令和7年1月30日 第3回支援
- ・環境省の補助事業の活用を念頭に、今後必要となる基礎的なデータの収集方法、事業の進め方、フイージビリティスタディ等の実施方法について専門家から具体的なアドバイス



4 コンシェルジュ事業の成果について

- ・ 温泉熱活用の実現可能性を定量的に分析できた
- ・ 阿蘇市温泉センターに最適な温泉熱活用の方法が明らかになった
- ・ 補助事業の詳細を知ることができた
- ・ 温泉熱活用事業を推進する筋道が明確になった



5 今後について

- ・ 阿蘇市温泉センター単独ではなく、**周辺の宿泊施設と連携した温泉熱活用**を推進する
- ・ 次年度以降に、更なる基礎的なデータ収集と、複数施設でのフイージビリティスタディを実施
- ・ 実現可能性があれば具体的な事業化に移行



5 今後について

- ・「**官民連携**」と「**共創価値**」により、脱炭素の取組に関する成功事例を実現させる
- ・様々な地域課題の解決に向けて、本事業を通じて「**脱炭素によるソリューション**」に関する知見を蓄積する